

オフセット設定の考え方

オフセットとは？

通常の測定結果に一定の値を足したり引いたりする事です。

なぜ必要なの？

屈折率式糖度計（破壊型糖度計）の値に対して、

N-1 糖度計に一定のズレがある場合、それを取り除く為です。

N-1 糖度計は出荷前に実際の果物でズレの調整を行っております。

しかし各農家さんで収穫のタイミングや栽培方法が異なることが原因で、一定のズレが生じることがあります。

設定の例

くだもの	N-1 の測定結果 (%)	屈折率式糖度計 の測定結果 (%)	値のズレ (%)
 A	11.6	12.8	-1.2
 B	9.7	10.6	-0.9
 C	10.6	11.2	-0.6
 D	11.7	12.5	-0.8
 E	9.5	10.7	-1.2

表の中の「値のズレ」の値を全て足して、くだもの数で割ると、屈折率式糖度計の値に対しての N-1 の測定値のズレの平均が出ます。

値のズレの平均

$$\begin{aligned} & -1.2 + -0.9 + -0.6 + -0.8 + -1.2 = -4.7 \\ & -4.7 \div 5 = -0.94 \end{aligned}$$

上の例での N-1 の値は屈折率式糖度計の値（本当の糖度）から、平均して -0.94% ズレている事がわかりました。

N-1 のオフセット設定は 0.5% きざみで設定できますので、+1.0% に設定すると良いという事がわかります。値のズレを確認する時に使うくだもの数が多いほど、調整の精度を上げることができます。

N-1 のオフセットの設定については、別紙「非破壊糖度計 N-1 取扱説明書」の中の「オフセットの設定」のページをご覧ください。